

改装の楽しみ仲間で共有



築55年の日本家屋を仲間とリノベーションする鈴木純子さん(左) (東京都墨田区)

自宅や店舗の改装(リノベーション)を友人、知人と楽しむ人が増えている。交流サイト(SNS)を使って仲間を集め、作業風景の写真を投稿するのも忘れない。面倒で大変な作業も、みんなでワイワイと取り組み、楽しみに変わる。リノベの新しい楽しみ方が広がりつつある。

「このパイプの長さどうします?」「鏡を置きたいから、そのスペースをあけて……」

11月初旬の午後、東京都墨田区にある築55年の日本家屋に3人の男女が集まった。それぞれが木材や電動工具を持ち込み、材料を切るなど黙々と作業。時々顔を

をあげて作業の方針を確認したり、談笑したりする。リノベを呼びかけた鈴木純子さん(50)もその一人だ。今年6月から少しずつ改装を進めているが「リノベは

初めてだったので、いろいろな作業がおっかなびっくりだった」。それでもリノベを進められたのは、ネット経由で集った仲間の存在が大きい。かさない。

主に使ったのがフェイスブック。「こんなふうにしたいのですが、詳しい方いますか」と投稿すると『自分も手伝いたい』『詳しい人を知っている』などと返事が寄せられる」

初心者1人では難しい作業でも経験者にコツを聞けば正解に近づけるといふ。そのお返しというわけではないが、作業の進捗は細かく報告する。作業中にもスマートフォンで写真を撮影。ネットを通じた仲間とコミュニケーションを欠

「1人でやるより、いろんなアイデアが出るのがい」。都内のアパートの1部屋を「レトロモダンなセレクトショップ風」にリノベ中の水野智之さん(39)は話す。塗装したガス管を使った棚や、押し入れを改造したおしゃれな扉の収納など、部屋の至る所にリノベ仲間と一緒に出したアイデアが生かされている。部屋の大家である水野さんは、同じDIY好きの仲

トレンドサーチ

SNSでリノベに新風

間と集い、お互いの物件と一緒に改装作業を手掛ける。壁や床一面を塗るような地味な作業も少なくないため、「行き詰まったとき、1人でやっているのとつらい」というのも集まって作業する理由のようだ。

リクルート住まいカンパニーの不動産・住宅サイト「SUUMO」の池本洋一編集長は「自分のライフスタイルを伝える手段という意味で、部屋のDIYをファッション感覚でとらえる人が増えている」と指摘する。住む部屋などを作り替える特別な作業だけに、過程も含めて楽しみたいといった人が今後増えそう

(随時掲載)